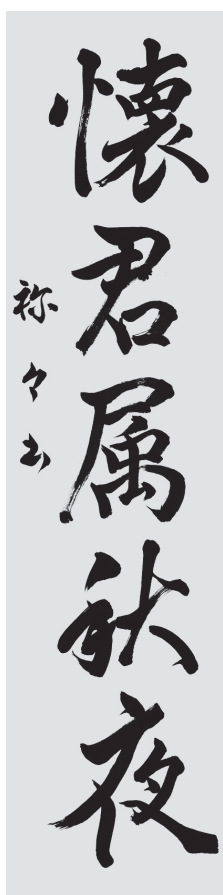


# 今月の最優秀作品

## 漢字条幅

陽翠 石川 祿々 お手本をよく理解し（今回の課題である左はらいの変化）遅速緩急を心得た筆使いで楽しいリズムが伝わる作品。

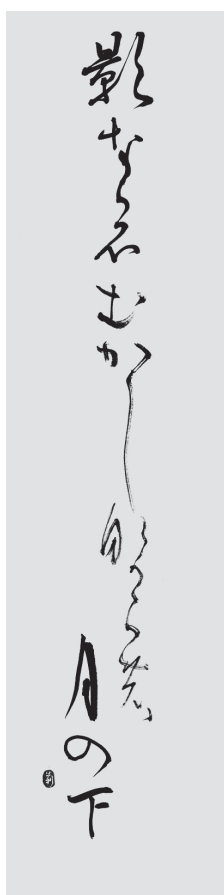
（選評 八尋 光華）



## かな条幅

祥瑞 大野 莉歩 作意のない自然な墨量の変化に、技量の高さを感じる。結句の加墨が生きている。月に照らされた静かな情景を感じさせる作。

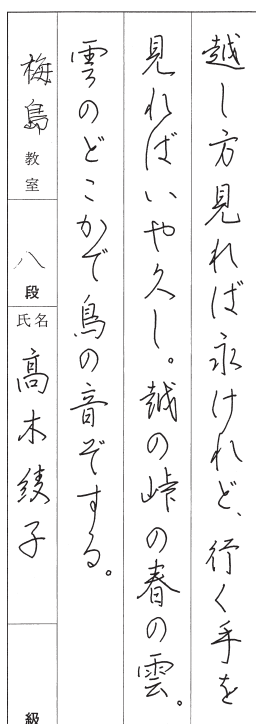
（選評 平川 恵翔）



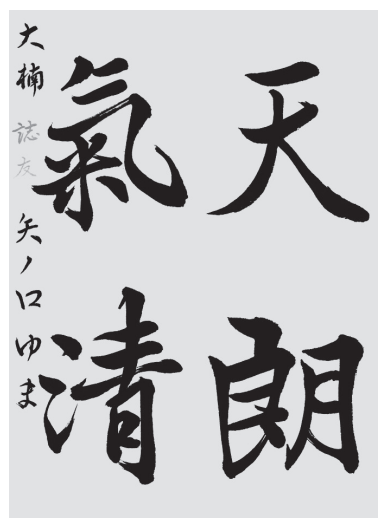
## ペン

梅島 高木 綾子 手慣れた連綿の書きぶりが流麗さを生み、漢字とかなの調和が取れて安定感がある。結体も洗練されている。

（選評 多田 溪翠）



## 漢字半紙

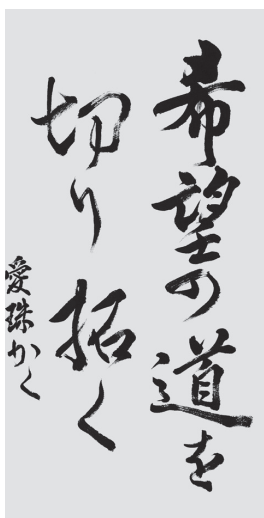


大楠 矢ノ口ゆま

蘭亭序の臨書作品として模範的作品。引き締まった線はゆるぎない強さを感じさせ、まさしく気韻生動溢れる秀作。

（選評 荒 恭子）

## 新和様

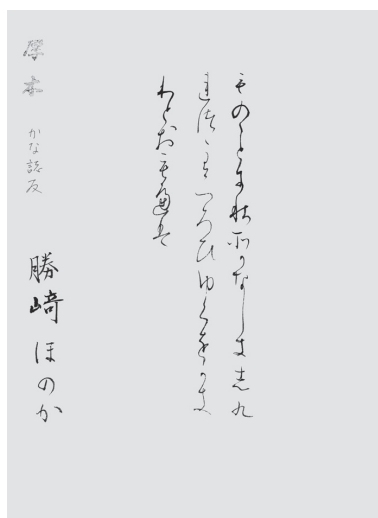


山本 片野 愛珠

墨量豊かな「希望」からさらに「切り」に続く潤濁の変化が美しい。結体も整い格調ある書きぶり、落款左側に余白があると更に良い。

（選評 山崎 貴子）

## かな半紙



厚木 勝崎ほのか

字源を理解して書くことで、関戸本の変化に富んだ字形を正確に表現している。潤濁が美しく奥行きも感じられる秀作。

（選評 尾高早帆子）



◇ 今月の優秀作品 ◇

天朗  
氣清  
青友 比久 振本夏美

天朗  
氣清  
佳心 原 悠介

天朗  
氣清  
梅島 華記 高木 綾子

天朗  
氣清  
中村 片野 愛珠

天朗  
氣清  
そら 谷本 祐莉

天朗  
氣清  
宮部 小野 由衣那

天朗  
氣清  
森山 紗菜

天朗  
氣清  
土橋 神奈 葵

天朗  
氣清  
大部 田村 愛茜

天朗  
氣清  
清水 八飯田 ひば里

天朗  
氣清  
前田 花園 菜都

天朗  
氣清  
文月 八穂 岩崎 奈美

天朗  
氣清  
子安 八船 橋こころ

天朗  
氣清  
神野 石川 夕風

天朗  
氣清  
陽泉 八石 原 瑞季

天朗  
氣清  
槍原 八小 林 史弥

天朗  
氣清  
三奈 八鈴 木 悠 細

天朗  
氣清  
明友 梨里花

天朗  
氣清  
久青 新井 純怜

天朗  
氣清  
心 西宮 魁 翔

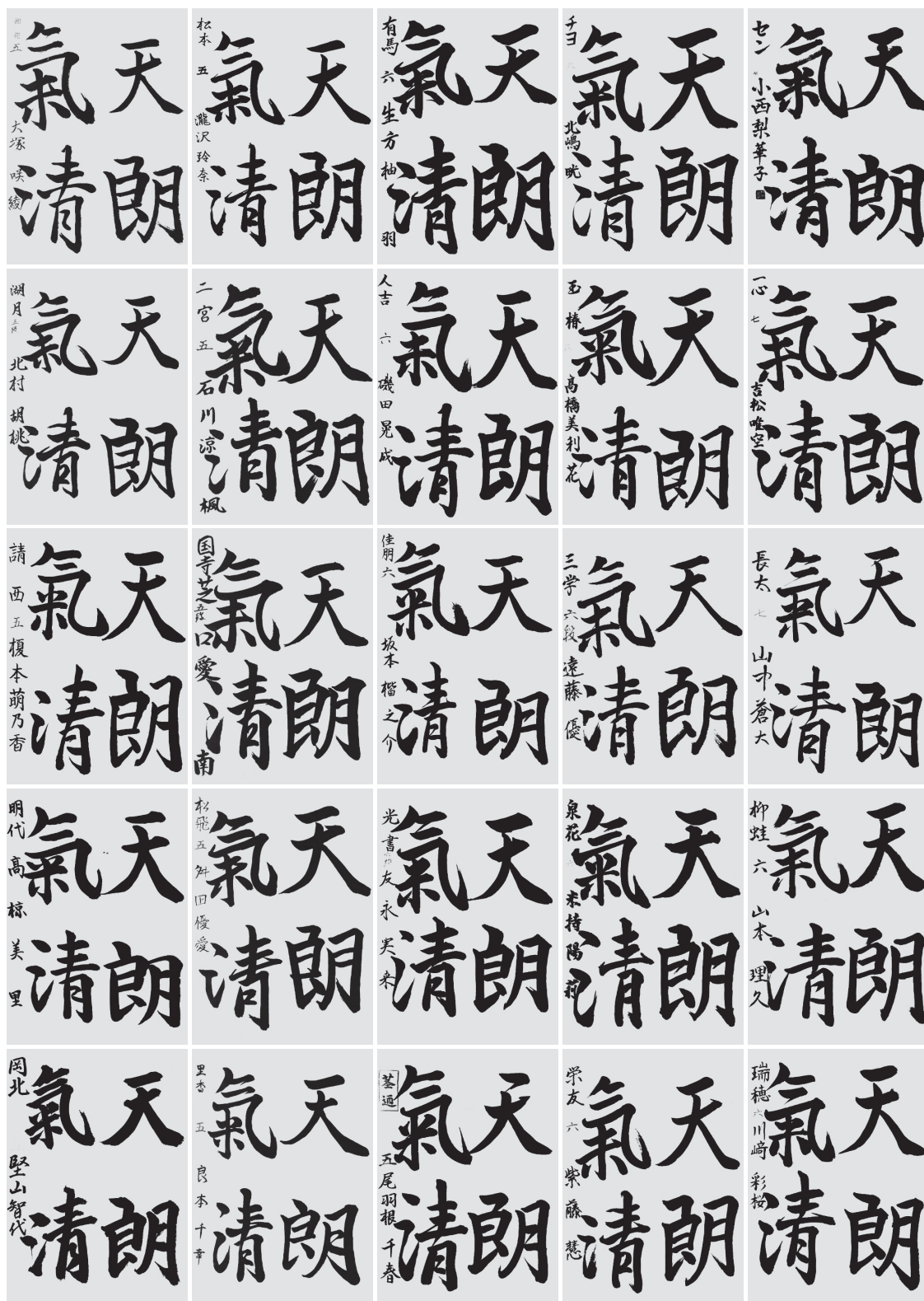
天朗  
氣清  
分水 七 外山 祥太郎

天朗  
氣清  
ふじ 七 小橋 桃羽

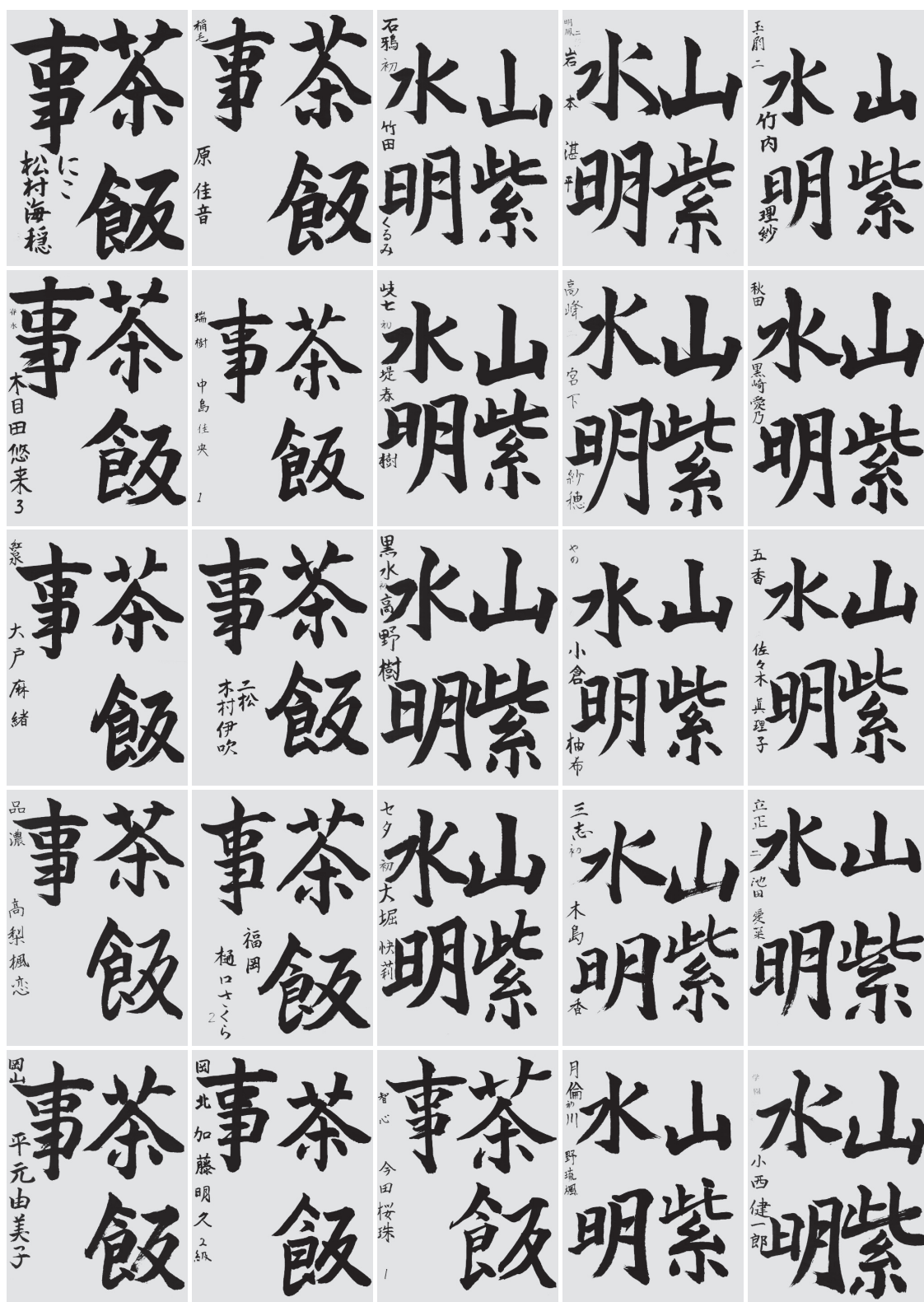
天朗  
氣清  
藤智 アイス 祐士

天朗  
氣清  
高家 藤浪 小春

天朗  
氣清  
HM 七 江藤 柳乃介







|                                                            |                                                        |                                                            |                                                           |
|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| <p>収業 初<br/>弘中 春佳</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>  | <p>栗丘 三吉野 暁</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>    | <p>書友 四段 塚本 夏美</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>     | <p>大楠 準 諸友 矢ノ口 ゆま</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p> |
| <p>雅書 初<br/>山岸 步実</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>  | <p>金子 三段 澤口 日葵</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p> | <p>文月 四段<br/>山本 望生</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p> | <p>秋月 七段 窪田 瑞恵</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>    |
| <p>玉萩 初<br/>辻野 千鶴</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>  | <p>水月 二 石川 梓音</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>  | <p>日吉 四 高田 和歩</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>      | <p>白根 二 三浦 智花</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>     |
| <p>玉高 初段<br/>田中 愛紗</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p> | <p>可書 二 松山 咲月</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>  | <p>ふみ 四 丹下 桜弥</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>      | <p>悠 中村 郁美</p> <p>本屏二</p> <p>おひ 免明うら<br/>目さやうね</p>        |

|                                                           |                                                                   |                                                                  |                                                                  |
|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| <p>秀景 近藤 杏</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p>           | <p>陽光</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p> <p>肉保 文花</p>           | <p>玉座</p> <p>新垣 芽愛</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p> <p>2</p> | <p>OK</p> <p>平林 虹夏</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p>          |
| <p>蘭 友</p> <p>佐々木 美音</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p> | <p>加茂</p> <p>田浦 凜のん</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p> <p>4</p> | <p>松浅 姚貝 優羽</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p> <p>2</p>        | <p>長太 伴野 真澄</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p> <p>1</p>        |
| <p>律</p> <p>竹谷 瞳</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p>     | <p>長堀</p> <p>山本 紗季</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p> <p>4</p>  | <p>モヲ 鈴木 礼菜</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p> <p>3</p>        | <p>大道</p> <p>山下 遥香</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p> <p>1</p> |
| <p>蘭 井</p> <p>遠山 未桜</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p>  | <p>紅葉 齋藤 柚奈</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p>                  | <p>清月 矢嶋 泰太郎</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p>                | <p>小半 木原 暖心</p> <p>戸通 越王<br/>堂連 永行<br/>宛書 表須</p> <p>2</p>        |

懷君属秋夜

翠 公

夕 中西 緑

懷君属秋夜

陽 菜 公

祥穂 佐藤 陽菜

懷君属秋夜

茅美花 公

A N 出町菜美花

懷君属秋夜

麗 公

清月 田中 麗

懷君属秋夜

梨 愛来 公

大楠 菅原梨愛来

懷君属秋夜

七 海 公

智舟 中川 七海

萬古情 萬古情

美穂 公

心美 公

姫春 高森 美穂 山本 坂上 心美

萬古情 萬古情

帆 花 公

百々果 公

千間 帆花 竹歳 帆花 川園 新藤百々果

影をふかき月の下

松原 高橋 杏葉

影をふかき月の下

郁野 片岡 啓太

影をふかき月の下

和同 仲田 悠

名月や  
たみのより  
ねぐさ

書友 上原 羅央

名月や  
たみのより  
ねぐさ

潮来 飯田 和美

名月や  
たみのより  
ねぐさ

青二 有田 夕奈

名月や  
たみのより  
ねぐさ

玉萩 沖野 千鶴

名月や  
たみのより  
ねぐさ

新井 福田 心優

名月や  
たみのより  
ねぐさ

光書 石川 慎之助

希望の道を  
切り拓く

上井 藤村 和佳

希望の道を  
切り拓く

広田 松岡 有李

希望の道を  
切り拓く

三志 鈴木 文子

希望の道を  
切り拓く

香川 斎藤 茉瑚

希望の道を  
切り拓く

桶川 山崎 咲音

希望の  
道を切り拓く

白根 丸山 瑞葵

希望の道を  
切り拓く

姫春 白井 弘一

希望の道を  
切り拓く

松田 馬場 爽代香

希望の道を  
切り拓く  
夕風 かく

神野 石川 夕風

希望の道を  
切り拓く  
鈔世莉 かく

平泉 佐藤鈔世莉

希望の道を  
切り拓く  
純伶 かく

久青 新井 純伶

希望の道を  
切り拓く  
妃里 かく

玉扇 春原 妃里

希望の道を  
切り拓く  
心優 かく

新井 福田 心優

希望の道を  
切り拓く  
銘孝 かく

若林 青木 結奈

希望の道を  
切り拓く  
明日香 かく

セブ 前田明日香

希望の道を  
切り拓く  
絢未 かく

美徳 塚本 絢未

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
久ま育 島野まらえ

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
福元遥香

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
ふじ 村田菜摘

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
玉世 潮崎芽衣紗

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
小絹 木村日菜乃

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
松本 高山珠菜

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
品濃 大西隆介

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
筋野愛菜

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
小平 関川みのり

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
文月 打越要生

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
清月 矢嶋泰太郎

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
東御 馬場愛織

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
三心 中村美結

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
福島 恵

行くほどに  
長城 ーかと  
秋日満つ  
景水 弓野うた

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
秋月 六 窪田 瑞恵

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
風 六 淡路 夏帆

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
緑 七 二宮 翼

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
ハル 七 山本 希

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
山本 八 坂上 心美

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
NY 八 柳 仁愛

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
台道 八 木村 優

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
光書 六 奥村 詩花

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
龍七 六 中西 美波

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
瑞穂 七 川崎 彩桜

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
三学 七 武藤 唯

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
楓 七 持田 結空

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
蘭友 八 佐々木 美音

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
智舟 八 青山 心春

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
松飛 六 弓田 千晴

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
ふみ 六 及川 菜月

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
ナザ 六 長部 実乃莉

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
蔵前 七 大野 和泉

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
春心 七 渋谷 凜華

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
前田 八 竹淵 柚来

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
藤園 八 小川 綾望

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
英花 五 橘 高沙郁

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
ほ心 六 久保 遥月

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
秀芳 六 田中 光

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
大井 七 勝又 瑞季

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
玉椿 七 岡田 陽奈子

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
大楠 八 岩田 栞奈

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
奈良 八 熊谷 虹丸

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
恵安 五 百瀬香奈子

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
極書 五 権瓶文乃

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
翠 五 佐藤彩花

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
白峯 五 白澤あゆな

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
五 田中愛紗

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
神 五 野々宮光鞠

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
そら 五 野口拓海

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
秋山 五 金谷芳依

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
柳 四 森岡伶風

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
中原 四 伊藤舞

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
桂書 四 須藤奈々花

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
青二 四 小林莉緒

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
美徳 四 崎山千颯

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
学園 四 池田菜生

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
有 四 大野年

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
せや 四 大塚萌

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
和同 四 井上桃佳

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
法水 三 姚美風

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
青空 三 有松陽花

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
玉川 三 都筑ゆず

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
陽泉 三 小林咲都

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
山田 三 宮元雪羽

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
玉扇 三 竹内理紗

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
エバ 三 山口己晴

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
杏 三 井口陽菜

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
白雪 三 若岡結菜

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
小千 二 松岡美命

越し方見れば永けれど、行く手を  
見れば、いや久し。城の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
福二 二 木村陽華

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
紫泉 二 河西 舞子

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
千葉 二 森田 細心

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
秋田 初 星崎 愛乃

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
ゆめ 初 水野 愛菜

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
邦城 有里衣織 一

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
松原 佐藤 朱里 三

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
紅泉 大戸 麻緒 四

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
ナヨ 二 木田 栗

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
あま 二 宮原 才莉

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
五番 初 佐々木 理子

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
石鶴 初 竹田 くるみ

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
栄和 長崎 咲良 一

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
すい 上江 洲仁子 二

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
にこ 松村 海穂 五

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
公偉 二 小川 結子

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
広田 二 伊藤 紅音

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
キソ 初 高橋 遠

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
福岡 初 樋口 さくら

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
八向 初 齊 遥 一

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
松浅 北口 和臣 三

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
旧古 松本 彩佳 六

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
加西 二 廣田 瑞稀

越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
番桜 初 町田 唯月

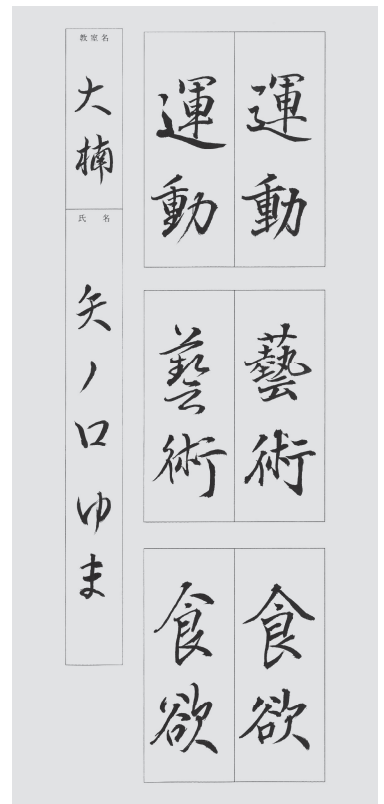
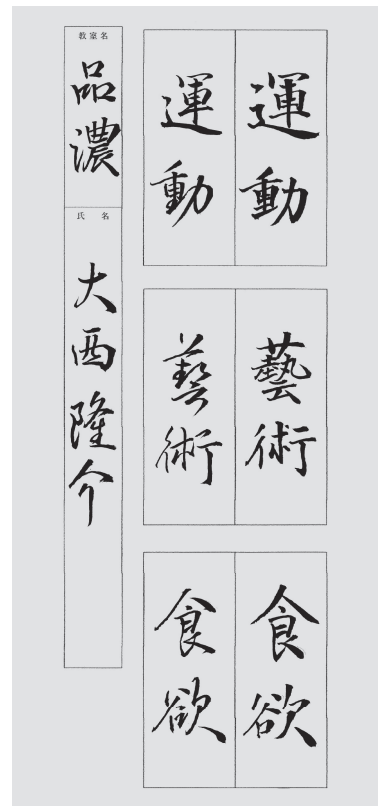
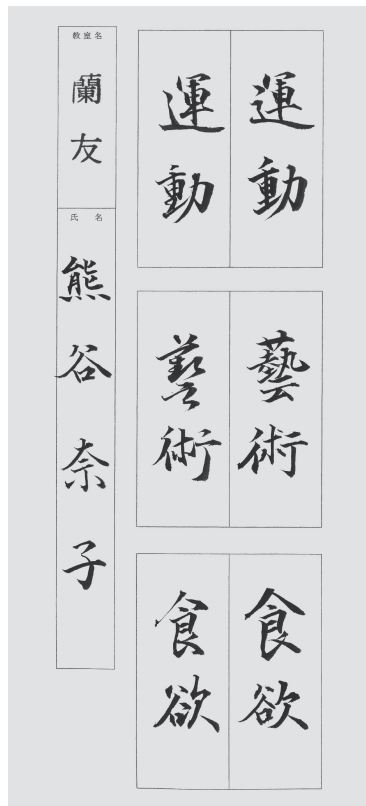
越し方見れば永けれど、行く手を  
見ればいや久し。越の峠の春の雲。  
雲のどこかで鳥の音ぞする。  
淀水 初 塚井 泰恵

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
明風 清家 未来 一

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
美 榮 島海 和心 一

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
岡山 平元 由美子 三

前後で矛盾したことを言う  
こと。嘘をつくこと。二枚舌。  
楡 関根 理子 七



＜漢字一字書＞

＜平がな一字書＞

南平  
落合 由衣



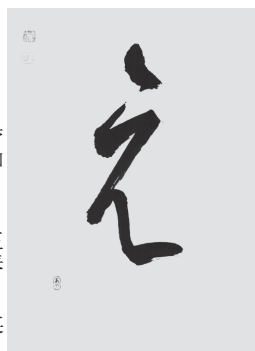
そり  
南部 光彦



菅山  
中村あかり



菅山  
正来 英



南平  
小山 秋江



千葉  
工藤 優衣



千葉  
森田 紬心



大楠  
八角 紗世



平泉  
佐藤紗世莉



住三  
長谷川文佳



そり  
北条 詩織



桂書  
紺野 真友



大部  
田村 愛茜



書友  
上原 羅央



香泉  
望月 由菜



戸狩  
高相 桃香

